

科目区分	専門教育科目	授業科目名	保育実習Ⅲ			科目コード	25Y506	担当者	三原 ミヨ子			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	2年次	開講学期	通年	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士選択必修		
授業形態	実習	履修条件	入学時から1年後期末までの通算GPAが1.20未満の者は、原則として、本科目を履修することができない。								教育職員免許法 施行規則に 定める 科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び 科目との関連									科目に含める ことが必要な 事項	

授業の主題	保育実習Ⅰを踏まえ、家庭と地域の生活実態に触れて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解を深める。その上で、児童福祉施設（保育所以外）における家庭支援のための知識・技術などを具体的に学び、保育士としての自己課題を明確にする。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	実習後に全体指導（実習報告会）や個別の事後指導をおこなう。
授業の方法	保育所以外の児童福祉施設及び障害者施設での学外実習をおこなう。	アクティブ・ラーニングの 実施方法	実習施設で、学生自身が利用者・職員と直接関わりながら、保育に関する学びを深める。

授業計画		事前・事後学修
<p>実習期間：2年次 9月 10日間</p> <ol style="list-style-type: none"> 保育実習Ⅰを踏まえ、児童福祉施設等（保育所以外）の役割と機能についての理解を深める 保育実習Ⅰを踏まえ、施設における子ども・利用者支援の実践についての理解を深める <ul style="list-style-type: none"> 受容・共感的態度の実践 子ども・利用者ごとに異なるニーズの把握と理解 個別の指導計画・支援計画の活用実践の理解 家族への支援と対応 他機関、地域との連携の実態の理解 施設における保育士業務（職業倫理含む）の理解と、自己課題の明確化 		<p>実習前に、実習先の子ども・利用者について理解を深めておく。実習後に自己の課題を確認する。</p>
		事前・事後 学修時間
		90分

教科書 [書名／著者 名／出版社]	教育・保育実習の手引き、これからの時代の保育者養成・実習ガイド	受講生への メッセージ	施設で生活する子どもや利用者の心情及び実態の把握に努め、個に応じた支援技術の重要性を理解してください。併せて、施設の社会的役割についても理解を深めてください。
参考書 [書名／著者 名／出版社]	なし		

